

2026年4月26日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」  
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -

(マタイによる福音書28:19~20)

# 復活節第4主日

労働聖日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

<神の招き>

前奏 ① 輝きのこの日 ヴァルター  
② 主の祈り プレトーリウス

招きの詞 ヨハネによる福音書11:25~26

交読詩編 34:1~8

讚美歌 52

<神の言葉>

聖書 創世記1:26~31  
(旧約 聖書協会共同訳 2頁)  
エフェソの信徒への手紙4:17~24  
(新約 聖書協会共同訳 349頁)

祈 禱

讚美歌 321

説教 「新しい人を着る」 佐藤潤伝道師

祈 禱

黙 想

讚美歌 514

<神への応答>

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告②

頌 栄 25

派遣と祝福

後 奏 ① われらに救いはきませり バッハ

② 主の祈り バッハ

宣教報告①

サテライトチャーチ植竹礼拝 10:30~11:30

夕 礼 拝 18:00~19:00

<神の招き>

前 奏 キリストは死に給いしが ツァハウ  
招きの詞 ヨハネによる福音書11:25~26  
交読詩編 34:1~8  
讚美歌 2

<神の言葉>

聖書 イザヤ書35:3~7  
(旧約 聖書協会共同訳 1100頁)  
ヨハネによる福音書9:3~17  
(新約 聖書協会共同訳 180頁)

祈 禱

讚美歌 52

説教 「いやされた人の証し」

熊江秀一牧師

祈 禱

黙 想

讚美歌 452

<神への応答>

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告

頌 栄 29

派遣と祝福

後 奏 キリストは死に給いしが バッハ/レベル

ワーシップ (賛美礼拝) 14:00~15:00

説教「湖での再会」熊江秀一牧師

ヨハネによる福音書21:4~6 [司式]細野長老  
賛美: 鹿のように、さあ賛美しよう、主イエスの十字架の血で、主イエス神の愛、今こそキリストの愛に答えて、主の祈り、主は今生きておられる、よみがえりの主

## 次週の礼拝 (5月3日) 聖餐式

① 9:00、② 10:30

説教「生きた神の言葉」

熊江秀一牧師

創世記2:1~3、

へブライ人への手紙4:1~13

交読詩編95:1~11

讚美歌3、53(奉唱I242)、408、81、24

夕 18:00

説教「つまづかない人は幸い」

佐藤潤伝道師

イザヤ書35:5~10、

ルカによる福音書7:18~23

交読詩編95:1~11

讚美歌18、183、290、81、26

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 5月の宣教の為に
4. 教会奉仕者の為に
5. 小グループの交わりの為に
6. 埼玉地区の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
8. 病気の兄弟の為に

\***関東教区お祈りカレンダー** 新島学園短期大学 新島学園中学校・高等学校 聖学院大学・キリスト教センター

◇先週の説教より「信じる者になりなさい」ヨハネによる福音書20章24節～29節、創世記15章4～6節 熊江秀一牧師

復活物語の第三幕、復活の主イエスがディディモと呼ばれるトマスに現れた出来事が与えられた。彼は復活の主が弟子たちに現れた時、その場にいなかった。弟子たちはトマスを訪ね、主が復活されたことを伝えた。主に遣わされた弟子たちはその喜びの知らせをまず友に伝えたのである。しかしトマスはそれを受け入れず、主の手の釘跡や脇腹の傷を見、触れなければ「決して信じない」と答えた。その姿を私たちは笑えない。私たちが信仰に目に見える証拠を求めてしまうからである。

弟子たちは八日の後、トマスを誘い再び集まった。この時も家の戸の鍵は閉められた。しかしこれは恐れからではなく、1週間前の出来事を追体験して、主の復活を証しするためである。主の日に弟子たちが集まり、主の復活の出来事が証しされる。ここに教会の主日礼拝の原点がある。そこに復活の主が現れ、真ん中に立ち「あなたがたに平和があるように」と宣言した。

そして主はトマスの思いに応え、手の釘跡や脇腹の傷を示し、触れるように告げた。この主の愛によってトマスの心は開かれ「私の主、私の神よ」と告白した。

この告白はヨハネ福音書のクライマックスである(元々は20章まで)。またこの告白は教会の信仰告白の原型となった。私たちがこの福音書の最後にこの告白をするのである。

さらに復活の主はトマス「見ないで信じる」という信仰の幸いへと招かれる。「信仰とは、望んでいる事柄の実質であって、見えないものを確認するものです」(ヘブライ11:1)。ディディモとは双子という意味である。彼の双子の一人は私たちである。今日、主の日に復活の主に出会っていたら、トマスと共に「私の主、私の神よ」と告白し、信仰の幸いに生きよう。